## 3 Vol. 205

- 02 地域おこし協力隊 活動報告
- 03 目次
- 04 行政情報
- 05 副市長を全国公募 国民年金のあれこれ
- 06 健康いいカラダ
- 07 いきいき介護
- 08 国保だより
- 10 げんきな親子
- 12 としょもっと!
- 14 HOTな話題
- 15 人輝く
- 16 地域を守る消防団に 入団しませんか?
- 18 消防
- 19 警察

異文化と暮らす

- 20 歴史紀行
- 21 トピックス/募集
- 22 およろこび・おくやみ
- 23 3月の相談
- 24 安芸高田のアイドル



〈 今月の表紙 〉 立春式で自分たちの夢を発表する 美土里中学校の生徒たち

## 本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎・お太助フォン 42-2111 (代) 八千代支所 ☎・お太助フォン 52-2111 美土里支所 ☎・お太助フォン 54-0311 高宮支所 ☎・お太助フォン 57-0311 甲田支所 ☎・お太助フォン 45-4111 向原支所 ☎・お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8時30分~17時15分 (土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市 ホームページ

https://www.akitakata.jp





本紙掲載のイベント情報等は、2月5日時点の情報のため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止、または延期となる場合があります。最新の情報は、各イベントの問い合わせ先に確認してください。

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえで開催します。

問地方創生推進課 まちづくり支援係 ☎・お太助フォン 42-2124

花村さんのミッションは「食と農のマッ チング事業」。市の新しい特産品として注 目を集めるもち麦を使った商品開発に取 り組みました。これまで完成したメニュー は、ピザ生地や甘酒、お菓子など。レシピ はイベントなどで配布され、もち麦の知名 度アップに一役買っています。また、地域 おこし協力隊の卒業後を見越して、安芸 高田産のフルーツを使ったドライフルー ツやドライ野菜にも挑戦。次々と新商品 作りに励んでいます。そんな花村さんの 心をつかんで離さない景色が本郷の棚田 (八千代町)。棚田モリモリ開墾クラブに 入会し、棚田の復活に力を注いでいます。 「棚田にはお茶の木がたくさんあるんで す。復活させてお茶や紅茶を作るイベント を開催するなど、人が集まるきっかけをつ くりたい」と夢を語ってくれました。



棚田の美しい景色を よみがえらせて、人が集まる 場所づくりをしたい

地方創生推進課 花村 友紀さん



## 各分野で奮闘中

## 地域おこし協力隊活動報告



住んでいる向原町を 多文化共生・国際交流の 拠点にするのが夢

人権多文化共生推進課 福岡 奈織さん



これまで約30の国と地域を訪れ、外国 でたくさんの方にお世話になったという 福岡さん。今度は自分が日本に住む外国 の方たちにその恩を返したいと地域おこ し協力隊に応募しました。ミッションは 「多文化共生推進事業」。急増している技 能実習生をはじめとする外国の方が、市 民と同じように対等に活躍できるまちづ くりに力を注いでいます。主な仕事は SNSでの情報発信や外国籍の子どもの 学習支援、日本語指導、技能実習生との 交流など。「高校生を対象とした多文化 共生リーダー養成講座では世界とオンラ インでつなぎ、交流してもらいました。子 どもから大人まで、世界を身近に感じて もらえるような講座や授業を開催しなが ら、多文化共生について皆さんと一緒に 考えていきたい」と話してくれました。

広報 あきたかた 令和3年3月号